

砥 上 山

文責 主幹教諭 佐藤秀和

筑前町役場生涯学習課からの案内で、一昨日に青少年ボランティアバンクへの参加申請書を生徒に配布しました。また、その際、夏休みに本校で計画している「リトルティーチャー」のボランティアも帰りの放送で参加を呼びかけました。

「リトルティーチャー」とは夏休みにボランティアを希望する夜須中学校の生徒を中牟田小、東小田小、三並小に送り、児童に勉強を教える取組です。部活動単位で、ボランティアに行く場合もあります。例えば水泳部は夏休みに、3つの小学校の水泳教室に行き、児童達に水泳を教えたり、三並小の駅伝大会にバスケット部や陸上部、柔道部が伴走者として一緒に走ったりする取組などもしています。小中連携の取組の一つとして、本校では毎年行っています。

最近、小中学校連携は必要であるとよく耳にします。ではなぜ、連携が必要なのでしょう。思春期を迎える小学校高学年から中学校にかけては、心身の成長や変化が一生のうちで、最も大きい時期であると共に、精神的に不安定な時期でもあります。そこで、小学校から中学校の間にある段差をなるべく小さくし、それを乗り越えるために、小中学校が互いに連携し、教育をする必要があると考えます。小中連携を進めることで「生きる力」の柱となる「豊かな心」と「確かな学力」を一層育むことができると思います。

ここで地域ボランティアに関して、少し触れさせて頂きます。全国学力学習状況調査の結果分析によると、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか？」という問いに対し、関心が高ければ高いほど、国語と数学のテスト（基本問題、活用問題）の正答率が高いというデータが出ています。生徒が地域ボランティアに参加することにより、地域に対しての関心が高まるチャンスが増えると考えられます。

ぜひ、この機会に親子で話し合い、生涯学習課のボランティアバンクに登録してみてください。

リトルティーチャーの申し込み締め切りは7月10日（金）、生涯学習課のボランティアバンク申し込みの締め切りは7月15日（水）にします。所定の申し込み用紙に記入して、佐藤まで提出をお願いします。

本校の小中連携の取組

三並小運動会での本校吹奏楽部の演奏の様子



中牟田小運動会での本校吹奏楽部の演奏の様子

